



## 秋号のテーマ

- ☆待合室に新コーナー設置☆犬の心臓病とフード
- ☆フィラリアのお薬忘れていませんか？

2014年10月発行

### 待合室に新コーナー設置



今年の夏より待合室にフードコーナーが設置されました。お食事は健康を維持するためにとっても大切なので、ペットに合った良質なものを選びましょう。お食事には大きく分けて二つの種類があります。



#### 総合栄養食

フードコーナー

毎日の主要な食事として給与することを目的とし、そのフードと水だけで指定された成長段階における健康を維持できるよう、栄養的にバランスのとれたフードです。

#### 特別療法食

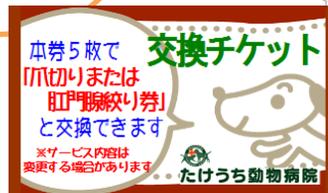


フードに含まれる栄養バランスが管理の上で重要となる病気が多く存在します。そのような**特定の疾病など**に対して食事療法として使用されることを意図して作られた**フード**のことです。**栄養成分の量や比率などを調整してあります**。病気の進行や病状の変化により、食事療法の内容が変わることがありますので、特別療法食は常に獣医師の指導のもと使用することが重要です。

### ドライフード購入に特典!

ドライフードに付いているこのチケットを5枚集めると「爪切りまたは肛門腺絞り券」と交換できます。

注文で購入の場合は今まで通り5回目まで無料券を発行します



### 食事指導について

当院では、成長段階に合わせた総合栄養食や食事量の指導を動物看護師が行っています。

また疾患がある子に対しては必要な場合獣医師が特別療法食を処方いたします。

現在食べさせているフードに不安や疑問がある方は、一度ご相談ください。



# 犬の心臓病とフード

ワンちゃんが多い心臓疾患に**僧帽弁閉鎖不全症(MR)**とよばれる病気があります。MRは、左心房と左心室の間にある弁(僧帽弁)において血流が逆流を起こしてしまう疾患で、特に中齢期以降の小型犬で多く見られます。

治療としては、血管拡張剤、利尿剤、強心剤等の内服薬に加えて**心臓病用の療法食**があります！！

心臓病は治す事は難しいですが、内服薬や療法食を使用することで**寿命を延ばし、快適に過ごせる時間を長く**することができます

## 心臓用フードの特徴

- ☆ナトリウム量を制限
- ☆心筋に必要な**栄養素**を配合
- ☆併発する可能性が高い**腎臓病**にも配慮



ドライタイプ



ウェット缶タイプ

疾患の進行状況や併発疾患によって適したフードがあります。  
詳しくはスタッフにご相談下さい！！

## フィラリアのお薬忘れいてませんか？

この地域でのフィラリア症の予防期間は**12月まで**です！



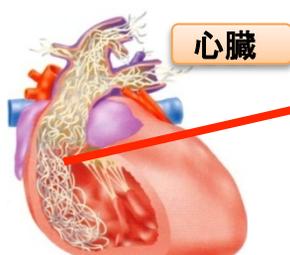
Q

なぜ12月まで必要なの・・・？  
涼くなったら蚊はいないんじゃないか・・・？

A



フィラリア薬は**感染して2ヶ月の虫を殺す効果**があります。たとえば11月、12月に飲む薬にはそれぞれ9月、10月に感染した虫に効果があります。ですから、ちゃんと**12月まで**飲む事が重要です。フィラリア症は命の危険のある病気ですが、薬を飲むことで**ほぼ100%予防可能**です！



成虫

心臓や肺動脈にソーメン状の大きな成虫が寄生します